

事業所名 多機能型事業所さくら

〒520-2153

Tel : 077-544-5400

Fax : 077-544-5442

HP : <http://mebuki.sakura.ne.jp/image/top.html>

E-mail : shinbayashi1670@bridge.ocn.ne.jp

担当者：平山真司



移行支援事業データ

設置主体 社会福祉法人めぶき福祉会

事業開始 平成 14 年 4 月

定員 就労移行：6 名、

就労移行支援利用者数：7 名（H31.1 月現在）

平均年齢 21 歳程度、H31 年 4 月～9 名（予定）

スタッフ数 13 名（事務・B 型等含む）

開設日 カレンダー通り（一部はシフト制）

開設時間 9：30～16：30

送迎の有無 石山&瀬田駅コース、稲津&石居コース

併設サービス 就労継続 B 型 定員 23 名、現員 22 名

利用料 障害者総合支援法で定められた額

工賃額 平成 29 年実績：170 円/時給

	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
就労者数	2 名	2 名	2 名	2 名	4 名	4 名
就職実績	ホテル清掃	平和堂青果部	島津製作所清掃	島津製作所内社員食堂	老人ホーム介護補助	日本精工正社員
	就労 A 型	保育園用務員	立命館大学清掃	老人ホーム営繕	島津製作所内社員食堂	ゴルフコース厨房
					島津プレジジョ製造 ゴルフコース厨房	平和堂バックヤード 島津社員食堂
定着率 就職～現在	2 名 100%	2 名 100%	2 名 100%	1 名 50%	3 名 75%	3 名 75%
就職後も職場訪問・本人との面談・定期的な振り返り等働き続けられるように定着フォロー						

会員見学受入（☒可・☐不可）

会員研修受入（☒可・☐不可）要相談

関係機関等見学受入（☒可・☐不可）

取り組み内容（例）

- 移行支援独自事業（企業委託部品製造、施設外清掃業務、施設外軽作業業務 等）
施設外での作業など出来るだけ福祉以外の社会との接点を持つことで理解を深め、また社会にも理解をしてもらう。***就職を確約する訳ではありません。*頑張るのは本人、さくらはサポート**
- 地域の自立訓練事業所と連携し、「大津ならではの移行支援」を実施。
在学中の学校や自立訓練と連携することで、移行支援の 2 年間で自己成長の有意義な時間に。
- 基本的なイメージとしては 2 年を 4 分割、1 年目は生活リズムの安定と作業に向かう姿勢作り、2 年目は、就きたい仕事探しと仕事への意識向上、実習など
（個人差あり。学校とは違い 1 年生・2 年生といった設定は無。本人の意識・マッチング等によって最短 3 ヶ月で就職・卒業した方もいれば、3 年目延長申請をする方もいる。）

PR

移行支援を単なる就労訓練ではなく、社会人になる為の移行期間と捉え、特に学卒者には企業や社会と接する中で、経験を積んでもらうことを重要視している。

社会との接点で見聞を深めつつ、内なる気付きを大切にすることで、一人一人の「働きたい理由」を育んでいきたい。

利用者の声

- 在籍中は終日施設外（会社で作業）は厳しいしイヤだと思っていたけど、いざ働いてみるとあの厳しさを知っておいて良かったと思う。
（平和堂 青果部勤務・23 歳 男性）
- 働くことって思っていたほど難しくなかった。卒業しても相談に乗ってもらえるのは嬉しい。
（企業社員食堂勤務 24 歳 女性）



① 島津製作所・島津プレジジョンテクノロジー（株）

ガスケット製造の様子

海外輸出用フォークリフトの部品の一部、ガスケットと呼ばれるゴムをグリス（機会油）を糊代わりにして鉄のプレートの溝に埋め込む作業。



月に4万個～5万個ほど製造し、会社に納品。表裏を間違えると全て再確認となるため、正確性・確実性・確認力・集中力などの向上に期待。また、納品で工場内に入ることによって工場で実際に働いている人々との触れ合いや、作業ロボットを見たりすることで働く意欲の向上になっている。

②島津製作所・島津プレジジョン・島津メクテム内にてクッキーの無人販売。

毎週、売れた個数の確認・補充・金銭管理を行う。個数確認や金銭管理だけでなく、役割分担と連携が必要。社内事務所内に入出入りするもので、挨拶・言葉遣いなど社会力の向上、実際に働いておられる方を目にする事で働く意欲の向上などが期待できる。

*OLさんの事務服に憧れてヤル気スイッチが入った者も。

①②2015年9月 びわこ放送 テレビ滋賀プラス1にて同社の障害者雇用の取り組みと当方の作業・納品の様子を放送



③しが夢翔会ステップ広場ガル（入所施設）にて終日清掃作業

週4回 朝10時～15時まで現地に出向き、廊下や玄関、トイレなどの清掃を行う。より就労を意識できる就労疑似体験。働く厳しさと喜びを経験。お世話される側からする側へ。さくら職員以外の人との関係性から社会力の向上の機会にもなっている。



所内作業 手帳のカバー付、封入作業 など
*作業内容は、変更になることがあります。



就職活動 面接の様子。
採用・就職後も 定期的に振り返りの場を持ち、長く働き続けられるように支援。
その他、除草作業、営業・販売等

***ワークライフバランス（仕事・趣味・家庭）が大切！
大人な自分とワークライフバランスを見つけよう！**

●移行支援事業とは？

一般就労が可能と見込まれる障害者について、生産活動、職場体験その他就労に必要な知識および能力向上のために必要な訓練、求職活動に関する支援、職場開拓、就職後の職場定着のための相談その他の支援。(大津市 HP 原文引用)

- 対象者: 就労を希望する者で、就労に必要な知識および技術の習得若しくは就労先の紹介その他支援が必要な65歳未満(原文)
- 分かりやすく言うと、2年間の就労訓練 (* 就労を保障するものではありません)
- 学校ではないので一年生・二年生のように2年間在籍して卒業という流れではなく、本人の働きたい気持ちや覚悟、技術等の成熟度や就職活動のマッチング・タイミングが合えば数ヶ月で卒業ということも有り得る。

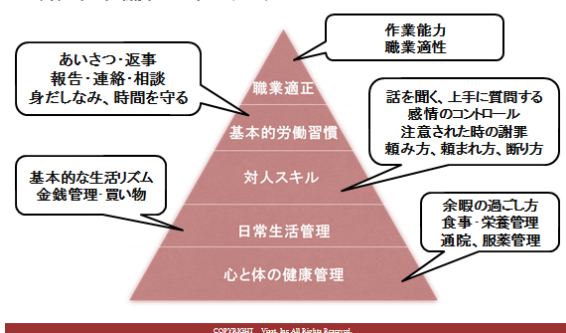
さくらの目指す移行支援

- 就職と言う【結果】だけに着目せず、社会や地域と関わりを持ち、そこでの人間関係などを意識しながら作業をする【過程】を大切にすることで、「一人の社会人として」、「一人の大人として」成長してもらいたい。
- 「就労への移行期」よりも「社会人(大人)への移行期」と捉え、社会に出る前段階として「本人の主体性への気付き」「本人なりの働く意識・意欲」を育む期間でありたい。「就職する力」よりも「働き続けられる力」を身につけよう！
- 大事にしたいのは「転ばないこと」ではなく、「転んでも起き上がれる力」をつけること。
「自分で走る意志(主体性のある目標)の発見」「先回りの支援で苦手を排除するのではなく、上手いかないこと・苦手な事にも向き合っていくことで 他人とも自分とも向き合う力(大人力)を伸ばしていく」
- 様々な経験から 良い思いも少々嫌な思いも、そこから何かを気付いてもらいたい考えから、基本的には、さくらから出た外での作業、外部の人(福祉系以外の企業も含む)との接点がある作業が中心。
障がい特性を理解しつつも、色々な経験をしてもらうため、苦手なこと・人も含め、それで作業内容やメンバーは固定しない。
- 「大津ならではの移行支援」の考え方に賛同。社会人への最短距離ではなく、有意義なプロセスとなるように自立訓練と連携。

さくら移行支援の具体的な作業内容

- 島津製作所からの業務請負(海外輸出用フォークリフトの部品製造と会社への納品)
【狙い】単純作業だが精密機械の部品なので正確性が必要。正確性・確認が重要という意識と集中力の向上。自分がワールドワイドな仕事をしていると言う自負、就労イメージの強化。企業の方の障がい理解を深め、雇用への関心を深める
- 島津製作所関連3社へのクッキー無人販売 補充作業
【狙い】企業を肌で感じる。「自分も働きたい」「働けるかも」という意識変換のキッカケ、福祉系以外の人との接点からの学び。企業の方の障がい理解を深め、雇用への関心を深める。
- ビルメンテナンス(主に除草作業)
【狙い】対人関係が苦手な方や大きな集団で作業するのが苦手な方が慣れていく上でも有益な作業。
また、成果が見えやすく、住人との挨拶などの中で、やり甲斐を感じる事が出来る。達成感、対人関係の向上
- ステップ広場ガル(入所施設)での清掃業務(週4回 職員1名とメンバー3名程度で 朝から終日出向いて清掃作業)
【狙い】より就労を意識できる疑似就労経験。働く厳しさ喜びの経験。外部の人との関係性からの社会力向上 など。
- 就職活動 単なる就職活動としてだけでなく、社会的な「経験値」として位置づけ。
例)ハローワーク利用について: 職種や業種を「知る場として」「就職意欲を高めるキッカケとして」知らない人(担当官)と話す「社会的経験値として」、希望職を絞り込めた方には「職探しとして」
- B型との多機能併用のメリット
移行支援独自の事業だけでなく、B型での作業【半日の施設外就労(午前:午後)、内部軽作業、クッキー製造販売等】
B型の作業の中でも移行支援の内容に近い作業があるので、それらの作業に段階的にステップを踏める。

働くための準備① (職業準備性ピラミッド)



本人の働きたい気持ち ←これが一番大切

仕事をするのに大切なこと⑪

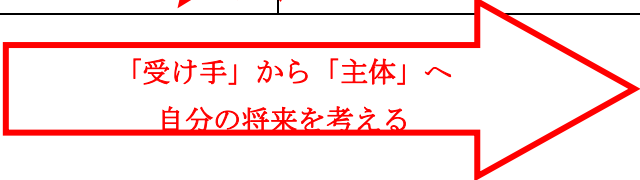
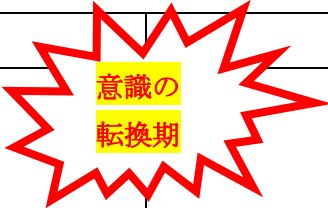
- ① 大きな声で挨拶・返事をしましょう
- ② 仕事の前の日は夜更かししないようにしましょう
- ③ 爪・フケは大丈夫? 身だしなみは清潔にしましょう
- ④ 2時間続けて作業できる集中力をつけましょう
- ⑤ 仕事中はおしゃべりしないで集中しましょう
- ⑥ 仕事は一つ一つ丁寧にやりきりましょう
- ⑦ ⑥が出来るようになったらスピードアップを目指しましょう
- ⑧ ミスは少なく! ミスをしたら隠さず職員に報告しましょう
- ⑨ 分からないことは相談・確認するようにしましょう
- ⑩ チームワークを大切に、ルールを守りましょう
- ⑪ 笑顔を忘れず 楽しく仕事をしましょう

「教育」⇒「労働」へ、

「使われる言葉」から見る「教育・福祉」と「労働」

学校	さくら	企業・社会
----	-----	-------

教育	福祉	労働
教育	訓練	仕事
生徒	利用者	被雇用者・社会人
個別支援計画	個別支援計画	雇用契約など
学校教育法	総合福祉法	労働基準法・雇用契約法など
「個」の尊重・個別対応		企業理念実現の為の「個」
「個人」を見ている		「業務」を見ている * 良くも悪くも社会や企業はシビア



あなたが思う大人とは？

あなたが思うカッコいい大人とは？

*** 社会人への移行期は在学中から既に始まっている**

挨拶や言葉遣いは習慣が大きい。急には変えられない。学齢期と卒業後のギャップに本人が困る。
習慣を変えるには非常に時間を要するので学齢期の過ごし方が重要。
学校生活がずっと続く訳ではない。ご家族・先生には在学時（遅くとも高校入学時から）卒業後を意識して過ごしていただきたいと考えています

*** 高校を卒業したら何らかの形で「お仕事」することになる**

ここで言う「卒業後とは」＝×「高校卒業時」じゃなく、○「その更に後の二十歳を意識」
高校卒業後「どこの事業所に行くか」ではなく、「どこの事業所を利用してどんな大人になるか」
事業所は終着点じゃない。「事業所を利用する」の『利用する』は通う事ではなく、本人の成長に向けて「大人への通過点として『本人（保護者）がメリットのある使い方をする』こと」
学齢期は「保護者と学校の二人三脚」、高校卒業後は「保護者と事業所の二人三脚」の中で本人なりの自立のあり方を模索し、大人になっていてもらいたい。

* 参考情報：企業が採用にあたり重視するポイントとは？ → 口頭で